

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能										
Q-1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.1.1 騒音										
	1	暗騒音レベル			診療部門: NC40 病室: NC35を設備基準としている	4.0	0.40	4.1	1.00	3.6
	2	設備騒音レベル				4.0	1.00	5.0	1.00	
1.2 遮音										
	1	開口部遮音性能				3.0	0.40	4.1	0.50	
	2	界壁遮音性能			病室間は壁をスラブまで立上、グラスウール充填としている	4.0	1.00	3.0	0.30	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			最上階のため上階からの衝撃音がないため	4.0	-	4.0	0.30	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)			最上階のため上階からの衝撃音がないため	4.0	-	5.0	0.20	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	5.0	0.20	
1.3 吸音										
						3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
	1	室温設定				3.5	0.50	3.0	0.50	3.1
	2	機器稼働・通気制御性				3.0	0.30	3.0	0.60	
	3	外皮性能	W		方位・用途によるゾーニング制御	3.0	0.20	3.0	0.40	
	4	ゾーン別制御性				4.0	0.50	-	-	
	5	温度・湿度制御				-	-	-	-	
	6	湿度制御				-	-	-	-	
	7	時間・空間・気象に対する対応				-	-	-	-	
	8	監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御										
						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式										
						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
	1	昼光率			腰壁を低くし明るく外を眺められる環境を整備した	4.2	0.30	4.2	0.30	3.4
	2	方位別開口				5.0	0.60	5.0	0.60	
	3	昼光利用設備	W			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策										
	1	照明器具のグレア				3.0	0.30	3.0	0.30	
	2	昼光制御	W			3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度										
	1	照度			診療・処置・手術それぞれに必要な照度を確保した	4.0	0.15	3.0	0.15	
	2	照度均斉度				4.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御										
						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
	1	化学物質汚染			F☆☆☆の仕上材を90%以上使用	5.0	0.50	5.0	0.63	4.3
	2	放射線対策				5.0	1.00	5.0	1.00	
	3	大気汚染				-	-	-	-	
	4	放射線対策				-	-	-	-	
4.2 換気										
	1	換気量				3.0	0.30	3.0	0.38	
	2	自然換気性能				3.0	0.50	3.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
	4	給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理										
	1	CO ₂ の監視				5.0	0.20	-	-	
	2	喫煙の制御			全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q-2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
	1	広さ・収納性				4.2	0.60	3.0	0.60	3.8
	2	高度情報通信設備対応				5.0	-	3.0	1.00	
	3	バリアフリー計画			バリアフリーに配慮し誰もが利用しやすい施設としている。オストメイト自	4.0	-	3.0	-	
	3	バリアフリー計画				5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性										
	1	広さ感・景観				3.0	0.40	3.0	0.40	
	2	リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	0.50	
	3	内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
	1	耐震性				3.0	0.48	-	-	3.5
	2	免震・制振性能				3.0	0.80	-	-	
	2	部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数										
	1	外壁仕上げ材の補修必要間隔	W		耐用年数の長いコンクリート打ち放し+磁器質タイルとした	4.0	0.33	-	-	
	2	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W		耐用年数が長くメンテナンスの容易なものを選択	5.0	0.29	-	-	
	3	配管・配線材の更新必要間隔	W		配管材は耐用年数が高い炭素鋼管(黒)、ステンレス鋼管とした	4.0	0.12	-	-	
	4	主要設備機器の更新必要間隔	W			4.0	0.29	-	-	
	4	主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新										
	1	屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新				-	-	-	-	
	2	配管・配線材の更新				-	-	-	-	
	3	主要設備機器の更新				-	-	-	-	
2.4 信頼性										
	1	空調・換気設備			方位・利用形態による系統分離、ガスと電気併用	4.0	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備				5.0	0.20	-	-	
	3	電気設備			非常用発電機、無停電装置を設置。生命維持系統は電源を二重	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法			耐震クラスAとした	5.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法				4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.4	0.29	3.5	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり					4.6	0.31	4.0	0.50	
1 階高のゆとり				医療機器、配管スペースに配慮した階高設定	5.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				外壁とコア部分以外の内壁を極力乾式壁とし自由度を確保	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		周辺環境に配慮した建物配置及びボリューム・色彩。地域のシンボルとしての影響を軽減	4.0	0.20	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			S		3.5	0.40	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		通風に配慮した建物配置及び中木・芝生による敷地内の緑化、駐	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.40	-	-	3.1
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			GHPIによる省力化	3.4	0.30	-	-	3.4
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 節水	W			節水型便器を採用	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.1	0.65	-	-	3.1
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			F☆☆☆☆を使用するとともに壁紙・床材などの接着剤も有害物質	4.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			フロン・ハロン使用の消火設備なし	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				広告塔無、近隣住戸との離れが十分有外壁材のグレアの影響は	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W			雨水流出抑制に関する指導要綱に基づき雨水浸透施設設置	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		病院	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		2,248 m2	-	-	-	
3 設備システムの EERRIによる評価		3.0	-	-	-	3.0
高効率化 個別設備による評価		3.4	-	-	-	3.4
3.1 空調設備		4.0	-	-	-	-
3.2 換気設備		1.0	-	-	-	-
3.3 照明設備		3.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		3.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-